

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 現代日本	政治学	堀田 学	1 年次	春

授業のキーワード	選挙、国会、政党
授業の概要	グローバル化や少子高齢社会の中で日本がどのような方向を目指すのか、政治にはこれまで以上の責任があると言えます。この講義では、現代の日本政治を把握し、教養科目としての政治学を理解することを目指します。
期待される学習成果（目標）	1. 日本政治の抱える課題を理解し、新聞記事を読めるようになる。 2. 日本のみならず国際的な視野から日本政治を見ることができる。 3. 政治学の初歩的な知識を会得することができる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	政治とは何か ①	授業のオリエンテーションと政治学についての説明をします。	第 9 講	政治家と官僚	法案の多くは官僚によって立案されています。日本の官僚制について説明します。
第 2 講	政治とは何か ②	国家・集団・個人と政治について説明します。	第 10 講	マスメディアと政治	マスメディアと政治について考えます。
第 3 講	デモクラシー ①	デモクラシーの歴史について説明します。	第 11 講	日本外交	戦後の日本外交について見ていきます。
第 4 講	デモクラシー ②	現代国家とデモクラシーについて考えます。	第 12 講	安全保障	日本の安全保障について歴史的な展開から 21 世紀の日本の課題について解説をします。
第 5 講	日本の政党①	日本の政党の歴史を説明します。	第 13 講	グローバル化	グローバル化について TPP や自由貿易などの経済問題も含めながら考えていきます。
第 6 講	日本の政党②	55 年体制の終焉から現在に至る日本の政党について見ていきます。	第 14 講	環境問題と政治	環境問題と政治の関わりについて考えます。
第 7 講	選挙制度	衆議院・参議院の選挙制度を見るとともに、一票の格差について考えます。	第 15 講	ジェンダーの政治	ジェンダーと政治の関わりについて考えます。
第 8 講	政治参加と選挙	日本の選挙について考えます。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法		定期試験（100%）で評価します。定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年			川出良枝・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012 年 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『現代政治学〔第 4 版〕』有斐閣、2012 年 久米郁男・川出良枝・古城佳子・田中愛治・真淵勝『政治学〔補訂版〕』有斐閣、2011 年		